

河川部門の TEC-FORCE 等 災害調査とその結果の活用

河川研究部 水防災システム研究官 (博士(工学)) 鳥居 謙一
河川研究室 室長 (博士(工学)) 服部 敦 主任研究官 (博士(工学)) 福島 雅紀
研究官 福原 直樹 研究官 中嶋 啓真



(キーワード) TEC-FORCE、災害調査

1. はじめに

国総研の河川部門は、河川管理者からの技術支援要請を受けて現地調査を行い、応急対策、被災原因を踏まえた復旧方法、その後の河道設計について助言を行っている。特に、緊急かつ高度な技術的支援が必要とされる場合には、緊急災害対策派遣隊（以下、TEC-FORCEとする）として派遣される場合がある。本年においても、大規模な出水に伴って河川管理施設の被災が生じた河川（表）において、職員の派遣を行っている。

表 平成24年の主な被災河川

日付	市町村	水系河川名(管理主体)	被災形態(箇所数)
7月3日	大分県日田市	筑後川水系花月川(国管理)	堤防決壊
	大分県中津市	筑後川水系山国川(国・県管理)	越水
	福岡県久留米市	筑後川水系巨瀬川(国管理)	越水
7月12日	熊本県熊本市	白川水系白川(国・県管理)	越水
	熊本県阿蘇市	白川水系黒川(県管理)	越水
	熊本県菊池市	菊池川水系志志川(国管理)	越水
7月14日	福岡県柳井市	筑後川水系立川(国管理)	越水
	大分県日田市	筑後川水系花月川(国管理)	堤防決壊
	福岡県久留米市	筑後川水系巨瀬川(国管理)	越水
7月22日	高知県土佐市	波介川河口導水路(国管理)	倒伏ゴム製堰の破壊
	京都府宇治市	淀川水系弥次郎川(県管理)	水路側壁の損壊(40ha浸水)
	京都府宇治市	淀川水系宇治川支流志津川(県管理)	土砂崩れ
8月18日	京都府宇治市	淀川水系弥次郎川(県管理)	応急復旧箇所が再び被災

※赤字：被災形態が堤防決壊の河川

2. TEC-FORCEとしての活動状況

平成24年7月の九州では、7月3日に大分県・福岡県の大雨、7月11日から17日にかけて九州北部を襲った大雨により、死者・行方不明者32名を出すなど大きな災害が発生した。7月3日に花月川、7月12日に白川、7月14日に矢部川、花月川・山国川等で堤防の決壊等河川管理施設に被害が生じている¹⁾。また、8月の京都南部の豪雨では、京都府の管理河川である宇治川水系弥次郎川で水路側壁の損壊による浸水被害が生じている。両豪雨災害について、河川管理者からのTEC-FORCE派遣要請を受け、国土交通省水管理・国

土保全局と合同の調査チームを被災後早期に編成し、職員を現地派遣、現地調査の実施、応急対応及び今後の復旧方法について助言・議論を行っている。

3. 調査結果の活用

災害時の調査結果は、当該災害へ適切かつ迅速に復旧に役立てるだけでなく、被災原因の解明を行い技術基準改定への活用、知見の蓄積・共有による設計・管理への着実な反映、施設の設計・評価手法の精度向上や合理化などのための有益な資料となる²⁾。国総研では、TEC-FORCE・災害調査等の調査資料・分析結果のデータベース化を図ることで、復旧方法事例の提示、点検の着眼点、施設設計時の留意点などを河川管理者に示している。特に、類似した被災事例が多く、かつ被災現象が複雑で高度な検討が必要な場合には、重点的な調査・分析を実施し、河川砂防技術基準等の技術基準や手引きを更新するための基礎資料として用いる。

また、今年度より「河川構造物管理研究タスクフォース」を設置³⁾し、河川構造物の点検・劣化診断などに関する技術相談及びフォロー、各種河川構造物にかかる劣化予測等に関する技術検討、河川構造物の中長期マネジメント技術に関する研究の技術課題に取り組んでいる。

【参考文献】

- 1) 平成24年7月九州北部豪雨等災害派遣速報, 土木技術資料, Vol. 54, NO. 9 p4-9, 2012
- 2) 河川砂防技術基準調査編 第10章災害調査
http://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/gijutsu/gijutsukijunn/chousa/index.html
- 3) 河川構造物管理研究タスクフォースホームページ
<http://www.nilim.go.jp/lab/fag/index.html>